

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 経営管理 I	その他参照	開講年次	【G】 - 【EF】 2	単位数	【G】 - 【EF】 2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	経営管理は、まず組織と人間を知ることから始まる		担当者	野呂 一郎		
授業概要	<p>【概要】</p> <p>経営管理というと、カタい感じを受けるけれど、現代における経営管理はムリヤリやらせることではない。喜んで人に動いてもらう、これが経営管理のポイントである。自由を手に入れ、よくも悪くも権利意識の強くなった現代人を動かすには、まず人間の、そして組織の心理を知らなければならない。その上で、戦略つまり合理的に練り上げたロードマップが必要だ。この講義は人間とは、組織とは何かを理解したうえで、経営戦略とは何かまでをカバーする。本講義は経営学概論の上級編、応用編でもあり、あくまで教科書の内容に沿って進める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>人と組織と戦略を自分の言葉で企業の人に的確に伝える能力を身につける。</p>					
履修条件	特にないが、経営学概論を既に履修していればなお良い。					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>「産業心理と経営学」北大路書房 野呂ほか著</p> <p>【参考書】</p> <p>「ナウエコノミー -新・グローバル経済とは何か-」学文社 野呂一郎著</p>					
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス—本講義のすすめ方—		予習：教科書まえがき、目次を讀んでくる			
			復習：現在の企業の在り方と講義の内容を対比する			
2	現代に生きる科学的管理法		予習：教科書3～12頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
3	経営学の歴史を学ぶ意義とは何か		予習：教科書4～12頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
4	使える、マズローの欲求5段階説		予習：教科書42～46頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
5	経営におけるコントロールとは何か		予習：配布資料熟読/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
6	組織は戦略に従うのか		予習：教科書頁85～95頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
7	リソース・バースト・ビュー入門		予習：教科書95～106頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
8	リーダーシップとフォロワーシップ		予習：教科書28頁～38頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
9	リーダーシップとチームワーク		予習：教科書頁42～46頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
10	モチベーション事例：米・オリンピック・アイスホッケーチーム		予習：教科書41～51頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
11	GAF(A Google, Amazon, Facebook, Apple)の戦略		予習：教科書181～187頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
12	コカコーラのグローバリゼーション戦略		予習：教科書188～206頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
13	ヨーロッパ教育機関CEEMANの異文化戦略		予習：教科書203～217頁/予告企業事例を考える(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
14	経営学の最新動向 人工知能時代の経営学とは		予習：配布資料の熟読、課題検討(計120分程度)			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
15	総括と学習到達度の確認テスト		予習：教科書のこれまでの講義に対応するページを讀み直すこと			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
評価方法	受講態度、確認テスト等の結果を総合考慮して成績を評価する。(受講態度30%・学習到達度の確認テスト70%) 確認テストは概念を適切に理解して、自分の言葉で表現しているかを主にチェックする。					
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、確認テスト欠席など、評価不能の場合には「F」とする。					
その他	※G 刈：法【-】 法【-】 情【-】 / EF 刈：法【-】 法【-】 経【選択必修(β)】					